

市報

No.685 ● 1991. 5. 1

TOSU



やさしさあふれる花いっぱいのまちに

花や緑を見ていると「ほっ」と心がなごみます。暮らしの中で、学校で、職場で、地域で広がる花とのふれあい、それが人と人とのふれあいにつながるまち。そんなやさしさにあふれる花いっぱいのまちをつくりましょう（写真はすみれやチューリップに囲まれる白鳩園の園児たち）。

[花でござり]

花とみどりに囲まれて

樋口トエさん（65歳、轟木町）



39年前、私たち夫婦は狭い間借りの生活からスタートしました。

娘時代から無性に花好きだった私は、自分の手で草花を育てることが夢でした。

花を植える土地もなく、子育てに追われ、安月給の暮らしでは無理な願いと思っていたやさき、夫の叔父の世話で現住所に150坪の土地を買うことができました。

まず家を建てるまではと、夫の休日には子供を連れて野菜作りに出かけ、私の大好きな草花もたくさん植えました。

念願の家は建てたものの、住宅資金の返済などでわが家の暮らしは最低生活でした。

庭木一本とてない索ばくとした庭に、12月のとすの市で夫が花の咲く庭木数本を買って植え込みま

した。その植え木が、現在では春一番に梅が咲き、白木蓮、花すとう、さんしゅ、秋にはモクセイと、四季折々の花を咲かせる木々たちは家族の心を和ませ、道行く人の足を止めます。

私の趣味は、カタログの中から好きな花を選んで種を求めて、自分で種をまき、ポットで育てて、日ごろノートに計画していた通りに花壇に植え込み、余分な苗は花好きな人たちに植えていただくことが一番の喜びです。

春花壇用、秋花壇用にと、季節に応じて種をまき、育てる楽しみ、思うように育たなかつたときの悲しさ、立派に育ち花開いたときの心のときめき、花とみどりに囲まれて、自然と平和のある生活に感謝の日々を送っています。

理科の時間にアサガオの種を植えました。緑色の鉢に黒い泥を入れて、指の最初の線に合わせて穴をあけました。そして、中に小さな小さな種を入れました。アサガオの種です。種はなんだかピーナッツを半分に割ったのによく似ていました。何色が咲くかな、と思っていました。

20日ぐらいたって双葉が出来ました。まん中に小さなつぼみみたいなものがありました。よく見てみると双葉のようでした。毎日毎日水をやって、つるがぐんぐんのびていきました。

何日かたって、棒につるが巻きつき、てっぺんまでびました。つぼみも3つぐらいありました。色は赤紫で、うずまきでした。

1週間たって月曜日がきたとき、

アサガオを育てた

篠原里美ちゃん（旭小2年、前田町）

「花」の入賞者

たくさんのご応募
ありがとうございました

略、※会長賞＝鳥栖市花とみどりの推進協議会会长賞、ソロプチミスト賞＝国際ソロプチミスト佐賀一東部賞)。

【花の絵・応募59点】金賞＝地原加奈子（基里小5年）▽銀賞＝

一年しの原里美　三歳山口るみ子　三年山口るみ子　四年基里小六年　五年織田文香　六年お方みさみさみさみさみ

はま花の里のもぎうち

平成3年度予算(118億円)スタート

生活環境の整備、市民福祉の向上のために

「うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市」を計画理念に、生活環境の整備、市民福祉の向上を図った平成3年度当初予算がスタートしました。

当初予算の総額は118億8,489万4千円で、前年度の当初予算と比べ0.3%の減となっていますが、これは前年度、基里中学校、斎場、保健センターの建設経費が当初から計上されたことによります。

本年度は、鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業、鳥栖駅周辺市街地整備事業、物流ネットワークシティー構想など大型プロジェクトの推進はもちろん、図書館の建設、鳥栖北小学校改築に伴う仮校舎建設、スポーツ都市宣言、全小学校へのパソコン導入、下水道終末処理場の増設、第2浄水場の整備と、新たな事業を積極的に予算化しています。以下、主な事業をご紹介します。

■総務

- ▷県国際交流協会出捐金 320万4千円

50万円

- ▷オンライン導入(調査設計委託料) 100万円

- ▷駐車場用地借上料 500万3千円

- ▷庁舎別館防水等工事 2,300万円

■福祉



真心の園のデイ・サービスカー

- ▷福祉ボラントピアの町づくり事業補助 100万円

- ▷(財)佐賀県地域福祉振興基金出捐金 320万4千円

- ▷在宅重度身障者ショートステイ事業 7万2千円

- ▷在宅老人デイ・サービス事業 1,564万円

- ▷ねたきり老人入浴サービス事業 156万円

- ▷在宅老人ショートステイ事業 297万4千円

- ▷ストマ用器具補助 12万円

- ▷シルバー人材センター設立準備

50万円

- ▷乳幼児医療費助成 1,500万円

■保健



保健事業は保健センターで

- ▷保健センター管理費 1,543万6千円

- ▷保健事業(体力測定、トレーニング、健康教育機能訓練など) 410万9千円

- ▷婦人の健康づくり事業(栄養教室、健康診査) 127万6千円

- ▷肝疾患検診事業 252万8千円

■生活環境



ごみ収集完全週2日実施

第5回 鳥栖少年の船

— 邪馬台国ロードを訪ねる —

団員募集

鳥栖市の未来を担う少年たちが、21世紀に大きくはばたくことを願って「第5回鳥栖少年の船」が出航します。

船上での研修・レクリエーションや大韓民国の少年たちとの交歓会、規律ある団体生活などを通じて自主性や協調性、連帯意識を育み、心身ともにたくましい少年を育成するために企画されました。

少年時代の意義ある思い出として、21世紀へ向かう新たな躍動と熱い期待を胸に、ふるってご参加下さい。

■主 催

鳥栖少年の船協会(会長中富正義)

■概 要

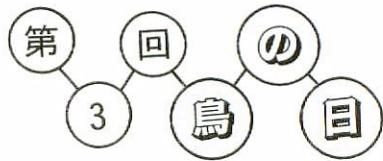
期日／8月4日(日)～8日(木)
5日 研修地／大韓民国(ソウル・慶州・釜山) 研修内容／大韓民国の歴史を学び、同国の少年たちとの交歓会や船上での研修やレクリエーション活動など 交通／往路

返信オモテ

郵便往復はがき 41	□□□-□□	往信ウラ
日本郵便 返信	住所	第5回 鳥栖少年の船 参加申込書
本人氏名 保護者氏名	氏名 性別 住所 電話番号 生年月日 年齢 学校名 学年 (フリガナ)	(フリガナ) 保護者氏名 印
(※返信ウラには何も書かないでください)		



5月26日(日)午前7時、市役所前出発。大人4,000円、子供2,500円。60人を募集。申し込みは市山岳連盟・西依政雄(都市計画課内☎3602)へ。



イベントがいっぱい

市では、鳥の里づくりをすすめ、市民のみなさんに野鳥の魅力や自然について再認識していただくため、5月10日から16日までの愛鳥週間中の日曜日を「鳥の日」と定めました。前回まで多くの市民のみなさんのご参加をいただきました。

今年は5月12日㈰が「鳥の日」に当たり、午前9時から正午まで市役所前広場と市民ホールで鳥の写真展、小・中学生の愛鳥週間ポスター・コンクール作品展示、スケッチ大会、「鳥の日」シンボルマーク図案の展示・入賞者の表彰、巣箱作りを行い、完成した巣箱は市民の森へ設置します。

鳩のスケッチ大会は園児・児童とその親が対象で、全員に参加賞があります。また、画用紙は用意しています。(※雨天の場合は市民ホール)

なお、鳥の写真、小・中学生愛鳥週間ポスター、「鳥の日」シンボルマーク図案の展示を5月10日から16日まで、鳩のスケッチは同17日から23日まで市民ホールで行います。詳しくは農林課林務畜産係(☎853564)へ。

県婦人就業援助センターでは、婦人が有利な条件で就業できるよう、ワープロの講習会を六月三日から週二回、計二十回にわたりて鳥栖市中央公民館で開きます。定員三十人で受講料無料(教材費は自己負担)。申し込みは市商工課に備え付けの受講申込書で五月底までに同課(☎853564)へお申し込みください。

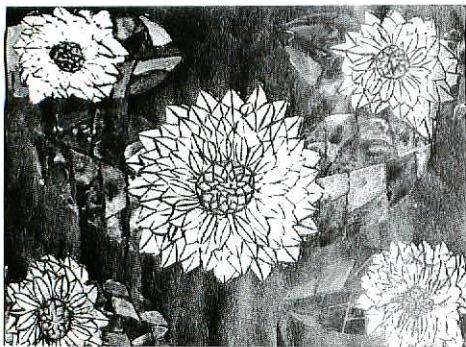
婦人ワーキング講習会

入賞作品

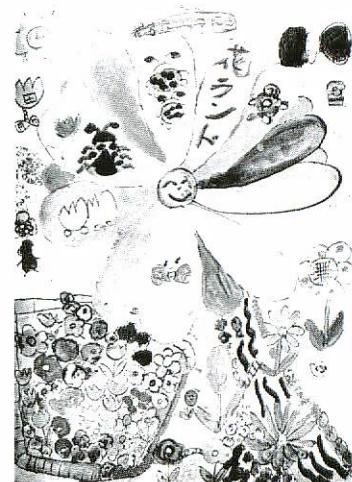
花の絵コンクール



【金賞】地原 加奈子さん(基里小5年)



【ソロップチミスト賞】高木 麻都香さん(基里小5年)

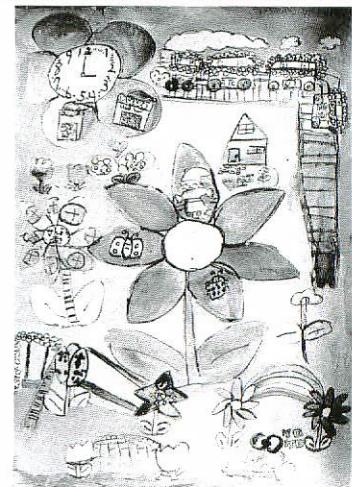


【銀賞】竹内 由美さん(鳥栖北小3年)

花模様図案 採用作品



野田 貴史くん(基里小5年)



【銅賞】雨森 馨代さん(鳥栖北小3年)